

世界銀行東京事務所ニュースレター

2022年（令和4年）12月号



WorldBankTokyo

@worldbanktokyo

COP27（シャルムエルシェイク）：マルパス総裁が参加（11/9-12）

マルパス総裁は、エジプト・シャルムエルシェイクで開催された国連気候変動枠組条約第27回締約国会議（COP27）に参加し、①開発を進める上で気候変動が大きな課題であること、②気候変動・開発のためにより多くの資金が必要なこと、③世界銀行グループとして、質量両面からしっかりと取り組んでいく考えであること、などを表明しました。



G20 バリ・サミット：マルパス総裁が参加（11/14-16）

マルパス総裁は、G20 バリ・サミットに参加し、途上国の開発を進める上で直面する様々な危機（①景気後退リスク・国際資金フロー、②食料危機打開に必要とされるより多くの資金・エネルギー・肥料、③債務削減・気候変動）などについて発言し、国際社会による取り組みの重要性を訴えました。また、マルパス総裁は、WHOとの緊密な協力の下で世界銀行内に設けられることになったパンデミック基金の発足式にも出席しました。



ディアリエトゥ・ガイ副総裁（人事）の来日（11/11-14）

ディアリエトゥ・ガイ副総裁（人事）は、日本でのリクルートミッションのため、西尾副総裁を伴って来日し、京都（同志社大学）、東京（上智大学・世銀東京事務所）でのキャリア・セミナーなどに臨みました（国際開発ジャーナル1月号への寄稿も予定）。また、西尾副総裁は、別途、東京女学館高校・広尾学園で、高校生を対象とした講演を行いました。



C7（市民社会サミット）：ドイツから日本への公式引継式（11/24）

世界銀行東京事務所では、G7 広島サミットの開催に当たり、地球規模課題に対して市民社会から政策提言を行う C7 を巡り、ドイツ（VENRO・German NGO Forum on Environment and Development）から日本（G7 市民社会コアリション 2023）への C7



議長国の引継イベント（Official C7 Handover）の開催に協力しました。TDLc スタジオで開催された会合では、ドイツ C7 関係者・コアリション 幹事団体を交えたパネルディスカッション（ドイツ・エルマウサミットの振り返り・広島サミットへの期待・市民社会からの提言など）、日本 C7 の準備状況、広島市民社会・閣僚会合開催地からの活動報告に続き引継式が行われたほか、会合終了後、東京事務所との意見交換も行われました。

TDLC の動き : COP27 サイドイベントに参加

東京開発ラーニングセンター (TDLC) は、COP27 のサイドイベント「地方の気候行動に関する日米豪印ワークショップ」に参加しました。同会合では、プラクティスマネージャーを務めるマイトレイ・ダスより、都市の気候変動対策における TDLC の役割とこれまでの成果について発表したほか、TDLC トップを務めるクリストファー・パブロがパネルディスカッションに参加し、地方自治体が気候変動対策計画を優先政策に組み込む上で中央政府が果たすべき役割を説明しました。



東京防災ハブの動き : 「災害に強い保健システム」 (11/29)

世界銀行では、COVID-19 パンデミックの経験を踏まえ、災害に強い保健医療システムの構築に取り組んでいます。今回のパネルでは、マムタ・マーティ保健担当副総裁の下でアドバイザーを務める井上肇氏の登壇も得て、汎米保健機構 (PAHO) と共に、各国における取組や過去の経験に基づいて構築されたツールに関する理解を深めると共に、新たな取り組みや連携の可能性について議論しました。

「パンデミックショックと保健財政」 (12/5 (月) 日本時間 23 時～)

世界銀行では、「From Double Shock to Double Recovery – Implications and Options for Health Financing in the Time of COVID-19」レポートの改訂に当たり、各国保健当局などの協力を得て「Pandemic Shock & Health Financing: Old Scars, New Wounds」と題したセミナーを開催します。右側の QR コードより参加登録をお願い致します。



東京事務所職員紹介



平井智子 : 世界銀行東京事務所 上級対外関係担当官

国連機関や NGO での勤務を経て 1996 年に世界銀行入行。東京事務所では長く広報を担当していたが、現在は政府関係、信託基金管理、リクルート等を担当し、JICA との政策対話やアフリカ開発会議 (TICAD) の調整、日本人スタッフの増加を目指す採用プログラム支援などに従事。2002 年～2003 年、ワシントン本部東アジア大洋州地域総局勤務。上智大学卒、トロント大学院にて修士課程修了。



クリスティナ・ヴィエンホーファー東京防災ハブ 防災専門官

2022 年 10 月着任。GFDRR のシティ・レジリエンス・プログラムに数年間勤務し、主にラテンアメリカ・カリブ海地域とアフリカ地域で災害後の復興、都市の回復力、回復力のあるインフラに関する投資融資や技術支援も提供した。ドイツでラテンアメリカを中心とした国際経営学の理学士号を取得し、ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題研究所 (SAIS) で国際経済学と国際関係学の修士号を取得。